

農林水産分野における 生物多様性保全に向けた取組状況について



農林水産省大臣官房政策課環境政策室長
中川 一郎

平成30年3月2日

農林漁業における生物多様性の主流化

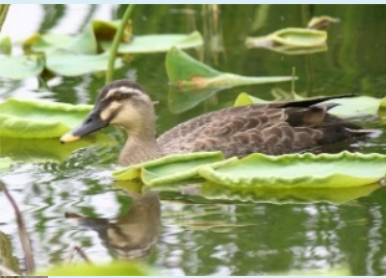
- 生物多様性条約第13回締約国会議（COP13）において、農林漁業分野における生物多様性の主流化の取組が生物多様性の損失を止めるのに重要であることを認識し、締約国等に対し、以下の取組の奨励等を行う内容を決定しました。

【農業分野】

○花粉媒介者、天敵、土壌生物の活用等を含めた農業生産システムにおける持続可能な農業生産の促進

○生物多様性への負の影響を軽減し、効率的・持続可能な管理等を促すための技術的イノベーションの開発・普及の促進

○ 生物多様性国家戦略の目標の土地利用政策への反映 等



農林水産分野における生物多様性の経済的連携 (農林水産省生物多様性戦略)

農山漁村

都会



CSR

【保全資金】



環境学習活動

サポート



【調達・支払い】



○田園地域・里地里山の保全

【生物多様性の保全】



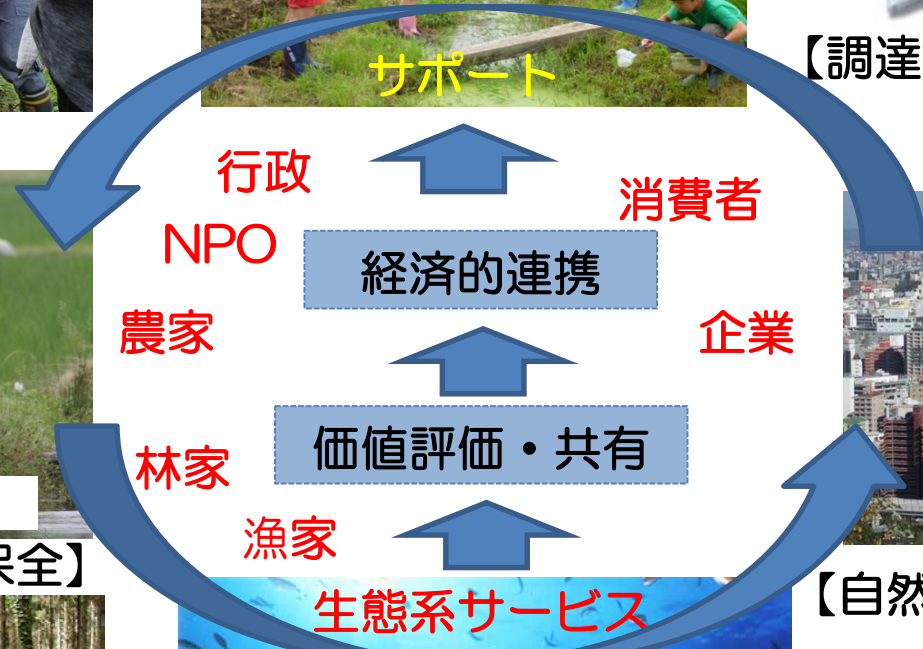
○森林の保全



○里海・海洋の保全



【自然の恵み】



農業・農村の持つ多面的機能の維持・発揮にかかる施策 【日本型直接支払制度】

- 農業・農村は、食料の供給のみならず、農業生産活動を通じ、国土の保全、水源の涵養、生物多様性の保全、良好な景観の形成、文化の伝承等、様々な機能を有しており、その利益は広く国民全体が享受。
- 多面的機能の維持・発揮を図るため、それを支える地域の共同活動、中山間地域等における農業生産活動、環境保全に効果の高い営農を支援する日本型直接支払を実施。

制度の全体像

※金額は、H30年度予算概算決定額

多面的機能支払 484億円

農地維持支払

多面的機能を支える共同活動を支援

※担い手に集中する水路・農道等の管理を地域で支え、規模拡大を後押し

支援対象

- ・農地法面の草刈り、水路の泥上げ、農道の路面維持等の基礎的保全活動
- ・農村の構造変化に対応した体制の拡充・強化、地域資源の保全管理に関する構想の策定 等



農地法面の草刈り



水路の泥上げ

資源向上支払

地域資源（農地、水路、農道等）の質的向上を図る共同活動を支援

支援対象

- ・水路、農道、ため池の軽微な補修
- ・植栽による景観形成や生態系保全などの農村環境保全活動
- ・施設の長寿命化のための活動 等



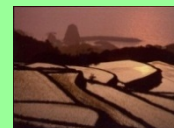
水路のひび割れ補修



植栽活動

中山間地域等直接支払 263億円

中山間地域等において、農業生産条件の不利を補正することにより、将来に向けて農業生産活動を維持する活動を支援



中山間地域
(山口県長門市)

環境保全型農業直接支払 25億円

自然環境の保全に資する農業生産活動の実施に伴う追加的コストを支援



有機農業



カバークロップ



堆肥の施用

生態系ネットワークと地域資源の保全活動

- 農村においては、農地・水路等で構築された水のネットワーク等が生態系を育み、またこうして形成された生物多様性は、農家等による農業生産活動や農地・水路等の維持管理活動によって保全。
- 今後とも、農地・水路等の整備や維持管理、地域資源の質的向上活動等に際して、これまでの取組を検証しつつ、環境への配慮や保全活動を充実。

〔農地・水路等で構築された水と生態系のネットワーク〕

水田、水路、ため池等の農村地域の水辺環境は、水と生態系の有機的なネットワークを形成しており、多様な生きものがその生活史に応じ様々な生育・生息環境を利用。

〔農業生産活動・維持管理活動〕

農村地域の水と生態系のネットワークは、農家や地域住民による生産活動や維持管理活動によって保全。



〔地域づくりの取組〕

環境教育、農産物のブランド化、地域コミュニティの活発化などの地域づくりの取組に活用。



地域コミュニティによる保全

地域づくりへの活用

〔農業農村整備における生態系配慮の取組に関する経緯〕

平成13年の土地改良法改正を契機として、農業農村整備における「環境との調和への配慮」のために必要な制度、技術資料を整備。

水田魚道の設置を通じた活動の展開

えのきまえ

榎前環境保全会（愛知県安城市）

○本保全会は、平成19年度より農地・水・環境保全向上対策に取り組んでおり、環境配慮に係る意識の高まりなどを受けて、愛知県農業総合試験場等との連携のもと、地区内の水田に水田魚道を設置。

【地区概要】

- ・取組面積 85ha
（田 80ha、畑5ha）
- ・資源量 水路 33km、農道 9km

研究機関との連携による 水田魚道の設置



○本保全会が設置している水田魚道は、愛知県農業総合試験場において開発されたものであり、遡上する魚類等の観察・調査を週2回程度の頻度で定期的実施

水田魚道を活かした活動



○水田魚道での 生き物調査を実施する事で環境 に対する意識を醸成

「ふゆみずたんぼ」の取組を活用してブランド化を進めている取組

「ふゆみずたんぼ実験田」推進団体(栃木県小山市)

コウノトリやトキをはじめとした希少生物が生息できる環境を作っていくため、化学肥料や農薬を使用しない米作りに取り組む
生産された米は「ラムサールふゆみずたんぼ米」としてブランド化して販売

【農業者の組織する団体等の概要】

・ 構成員 農業者12名

【H27年度の取組】

- ・ 対象作物 水稻
- ・ 対象活動 有機農業、冬期湛水
- ・ 取組面積 15ha

地域の現状と課題



団体の構成員

- ・ ふゆみずたんぼの取組地区は、小山市の中心市街地から南部に位置し、水稻を中心とした土地利用型農業が盛んな地域
- ・ 渡良瀬遊水池がラムサール条約湿地登録候補になったことを受け、小山市が「コウノトリ・トキの野生回帰」運動としてトキやコウノトリの餌となるドジョウやカエルなどが年中生息できる環境づくりを推進
- ・ 市の呼びかけによって団体を設立し、平成24年から化学肥料・農薬を使用しない栽培とともに、冬期湛水管理に取り組む

環境保全型農業の実施状況

【環境直接支払の対象活動】



田植え作業

冬期湛水管理

- ・ 田植え直後や水稻収穫後に米ぬかを散布し、水稻の出穂期と登熟期に玄米黒酢を散布するなどし、有機農業に取り組む(8ha)とともに、併せて冬期湛水管理(7ha)に取り組む

取組の効果及び今後の展開



「ふゆみずたんぼ米」 飛来した野鳥の群れ

- ・ 平成27年「ラムサールふゆみずたんぼ米」として販売開始し、市内の慣行栽培の価格に比べて1.5倍程度となっており、慣行栽培以上の収益がある
- ・ 今後は関連商品の開発により、更なる取組拡大を目指す

My 行動宣言 (UNDB-J 農林水産関係アクション)



国連生物多様性の10年日本委員会

生物多様性とは、たくさんの生きものがつながりあって暮らしていることです。農業、林業、水産業にかかわる身近な行動により、生物多様性を守ることにつながります。農業、林業、水産業にかかわる次の中から、あなたにできることを裏面のHPの情報を参考に「MY 行動宣言」をして、今日から行動しましょう。

MY 行動宣言は、UNDB-J の HP (<http://undb.jp/spread-action/entry/>) から宣言できます。

ACT	活動内容	農林水産分野の活動内容例	農 業	林 業	漁 業
ACT 1 たべよう	地元でとれたものを食べ、旬のものを 味わいます 。	地元でとれた農林水産物を食べ、旬のものを 味わいます 。	☐ 地元で取れた農産物を 味わいます (地産地消)。	☐ 地元の森の恵み (キノコ・山菜・筍やジビエ等) を 味わいます 。	☐ 地元でとれたお魚を 味わいます 。
ACT 2 ふれよう	自然の中へ出かけ、動物園、水族館や植物園などを訪ね、自然や生きものに ふれます 。	農山漁村へ出かけ、農地・森林・漁場を訪ね、自然や生きものに ふれます 。	☐ グリーン・ツーリズム・農業体験に参加し自然や生きものに ふれます 。	☐ 森林レクリエーション・森林環境教育に参加し自然や生きものに ふれます 。	☐ ブルー・ツーリズム・漁業体験に参加し自然や生きものに ふれます 。
ACT 3 つたえよう	自然の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、写真や絵、文章などで 伝えます 。	農山漁村の素晴らしさや季節の移ろいを感じて、行事への参加を通して広く 伝えます 。	☐ 田んぼの生きものの調査等イベントに参加し、感想を 伝えます 。	☐ 森で働く人、暮らす人と交流するイベントに参加し、感想を 伝えます 。	☐ 川・海のイベントに参加し、感想を 伝えます 。
ACT 4 まもろう	生きものや自然、人や文化との「つながり」を守るため、地域や全国の活動に 参加します 。	農山漁村の生きものや人、文化との「つながり」を守るため、保全活動に 参加します 。	☐ 田んぼ・耕作放棄地の保全活動に 参加します 。	☐ 森林ボランティアや企業等の森づくりに 参加します 。	☐ 魚が生活しやすい環境 (藻場) を守る活動に 参加します 。
ACT 5 えらぼう	エコラベルなどが付いた環境に優しい商品を選んで 買います 。	生物多様性保全に配慮した農林産物を選んで 買います 。	☐ 生きもののマークなどの農産物を選び 買います 。	☐ 合法木材・森林認証・間伐材などの木材を選び 買います 。	☐ エコラベルなどの水産物を選び 買います 。